

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 人間科学部

名 前 庄子和夫

作成日 2023 年 9 月 30 日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

以下の授業を行っている。

人間科学部

- ・心身健康科学科：生命科学概論、老化寿命の科学、生命と遺伝子、人間理解のアプローチ、ヒューマン、免疫学
- ・健康栄養学科：生命科学概論、生化学実験、発達心理学と環境、管理栄養士総合演習
- ・ヘルスフードサイエンス学科：生化学、生化学実験、生命科学概論

保健医療学部

- ・看護学科：生物学基礎
- ・リハビリテーション学科：生物学基礎

2. 理念（教育に対する考え方）

学生のみなさん自らが主体性を持ち、考え、疑問を解決し新しいことを見いだしていける力を養う、そんな授業を心がけていると思っています。人間を理解するため「こころ」「からだ」「文化」を総合的に学ぶという人間総合科学大学でなければできないことを通し、それぞれの方が「こころ」「からだ」「文化」の融合を目指してご自分の人間総合科学というものを構築して欲しいと思います。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

人をこころ・身体・環境文化の3つの視点で理解することが、人の真の理解につながることをわかっていただけるように務めています。そこから心身の関係性に注目して心身相関の理解を少しでも深めていけるような学びになりように心がけています。これらの学びを通して健康を考究し個人が健康でなければ社会の健康もないとの考えから本学そして学部のディプロマポリシーにある「自立」と「共生」の意味を理解してもらいたいと思っています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

生命に関する授業を主に担当していますが、新しい知識が増えた、分かり易かったという評価を得ている反面、専門用語がわかりにくいなどの意見をいただいています。学生が新しいことを学ぶ楽しみを知ることは私の励みになりますが、専門的な内容をどう噛み砕いて説明するかが課題だと思っています。この課題に前向きに取り組んでいきたいと思っています。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

短期的には学生に必要最低限の知識は習得してもらい、それを土台に基礎的な知識を論理的に組み合わせより複雑な事象にも対応できる能力を身に付けてもらうことを目標とする。いわゆる基礎的な知識を利用して発展的な問題や実在的な問題に考察して対応できる能力を身に付けてもらうことを目指す。中期的にはどのようなことにも自身で考え問題を解決できる能力を身に付けてもらうことである。

＊ 表紙を含め、全体として、3 ～10 ページ程度とします。

【添付資料】

- ＊ TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。）
- ・ シラバス
 - ・ 授業配布プリント
 - ・